

富山高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	ビジネスゼミナールⅡ
科目基礎情報				
科目番号	0105	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	各担当教員が適宜作成し配付する。			
担当教員	松原 義弘			
到達目標				
1. 第1学年から身につけてきた国際ビジネス学科の各専門科目に関する知識技能を基礎として、今後の就職や進学といった自分らしい進路選択・開拓を行なうことができる。 2. 第1学年から身につけてきた国際ビジネス学科の各専門科目に関する知識技能を基礎として、卒業研究活動を行なうことができる。 3. 自分らしい進路選択と開拓活動、及び、卒業研究活動を通して、主体的自律的に学習し行動することができる。				
ループリック				
進路選択	これまでに身につけた教養科目、専門科目の知識を使って、今後の自分らしい進路選択・開拓活動を具体的に行なうことができる。	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
卒業研究	これまでに身につけた教養科目、専門科目の知識との関連で、自らの卒業研究のテーマを設定し、自立的に関連資料を探査することができる。	これまでに身につけた教養科目、専門科目の知識を使って、今後の自分らしい進路選択活動を模索し始める。	今後の自分らしい進路選択・開拓活動を開始することが出来ない。	
主体性・自律性	自らの進路選択や開拓、及び、卒業研究論文のテーマの設定と研究計画の作成に対して、主体的自立的に取り組むことができる。	自らの興味・関心に従って、卒業研究のテーマをおよそ決定させ、必要な文献の収集の方法を実践することができる。	卒業研究テーマの設定や研究計画を作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係				
ディプロマポリシー 2				
教育方法等				
概要	「ビジネス・ゼミナールⅡ」では、「ビジネス・ゼミナールⅠ」に引き続いだ、国際ビジネス学科の専門科目を中心とした知識や技能を使って、自分らしい進路の選択について考えることと、これとの連関で適切な卒業研究を進めいくことを主な目標としていますが、その比重を卒業研究活動の実施に大きく移します。そして、具体的にレポート用紙5枚以上の研究の成果を求めます。			
授業の進め方・方法	「ビジネス・ゼミナールⅡ」では、活動場所の中心は各自の卒業研究指導教員のゼミ室となります。まず、学期の初めの卒研室配置希望調査が行なわれ、各学生が今後卒業までの長期にわたって指導を受けていくことになる指導教員が決定されます。その後は、指導教員のガイダンスの下で主体的計画的に研究活動を継続していくことが期待されます。			
注意点	卒業研究指導は、約1年半の指導教員と学生の主体的な関係の上で展開されることになります。そこで重要なことは、指導教員との連絡や相談を密にして良好なコミュニケーション関係を維持していく努力をすることです。評価は、卒業研究調査内容に基づいたプレゼンテーションを行なうこと、及び、A4用紙5枚以上かつ5,000字以上の調査の成果を提出することで行われます。			
授業の属性・履修上の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	「ビジネス・ゼミナールⅡ」の趣旨説明、卒研室自由訪問	
		2週	「県外企業見学」事前ガイダンス	
		3週	「卒業研究論文中間発表会」聴講	
		4週	「プレ卒研」①	
		5週	「プレ卒研」②	
		6週	「プレ卒研」③	
		7週	「プレ卒研」④	
		8週	「プレ卒研」⑤	
後期	4thQ	9週	5年生による進路ガイダンス	
		10週	「プレ卒研」⑥	
		11週	「プレ卒研」⑦	
		12週	卒業生による進路ガイダンス	
		13週	プレゼンテーション大会	
		14週	「卒業研究論文発表会」聴講	
		15週	「プレ卒研」⑧	

	16週	まとめ	今学期の総括と次年度の卒業研究調査計画を指導教員と作成する。
--	-----	-----	--------------------------------

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表・レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	80	20	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	40	10	0	0	0	50
分野横断的能力	0	40	10	0	0	0	50